

おわりあさひの環境 ♣

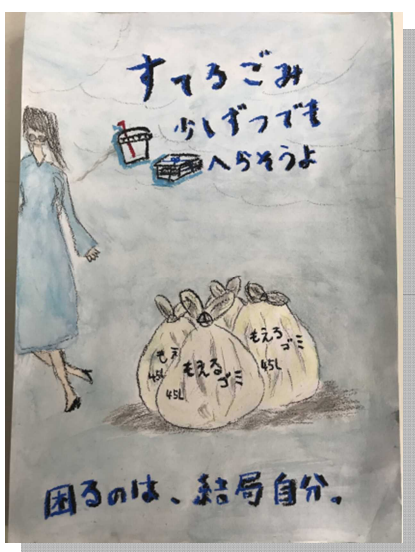
令和元年度環境基本計画年次報告書

-平成30年度の実績と現在の進捗状況について-

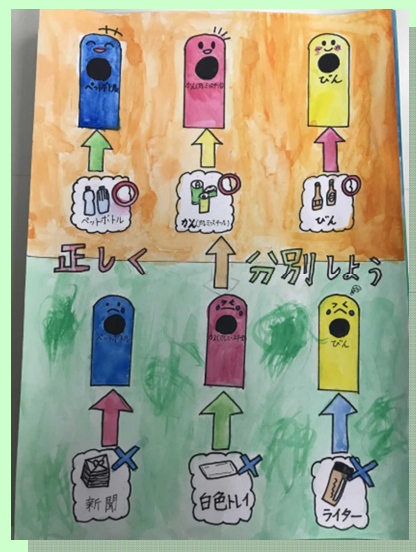
【令和元年度クリーンシティ推進運動ポスター受賞作品】



市長賞
(三郷小学校 寺尾 和真さん)



市議会議長賞
(本地原小学校 小島 芽依さん)



市教育委員会教育長賞
(旭丘小学校 近藤 理智さん)

令和2年1月
尾張旭市 環境課



目次

I 尾張旭環境基本計画の概要

1	計画の概要	1
2	望ましい環境像	1
3	施策の体系	1
4	計画の進行管理体制・年次報告書	2

II 平成30年度の実績と指標の状況

1	「施策」の目標に向けた「指標」の状況	3
2	「みんなの取り組み」によって進んだことがら	4

III 施策ごとの取り組み状況

1	施策ごとの取り組み状況の見方	5
2	施策ごとの取り組み状況	
	分野別目標① 学び広げるまちづくり	6
	分野別目標② ごみのないまちづくり	9
	分野別目標③ 地域で地球を考えるまちづくり	12
	分野別目標④ 自然とふれあうまちづくり	15
	分野別目標⑤ 暮らしやすい快適なまちづくり	18

I 尾張旭市環境基本計画の概要

1 計画の概要

(1) 計画の目的

本計画は、尾張旭市環境基本条例（平成16年条例第23号）に基づき、今ある環境を将来の世代に、より良くしながら継承し、誰もが健康で快適な市民生活を営むため、市、市民・市民団体、事業者が協力し、環境に配慮した総合的な取り組みを示すことを目的としています。

(2) 計画期間

長期的な視点に立って環境の保全や創出に取り組むため、平成19年度から令和5年度までの17年間を計画の期間としています。

(3) 中間見直し

本計画は、策定時からの環境や社会経済情勢の変化、そしてこれまでの進捗状況や市総合計画を始めとした上位・関連計画の内容などを踏まえ、平成26年度に施策や指標の見直しなどを行いました。

2 望ましい環境像

将来あるべき姿を考え、全員参加で環境の保全と創出に取り組むことのできるまちを目指し、望ましい環境像を次のように定めています。

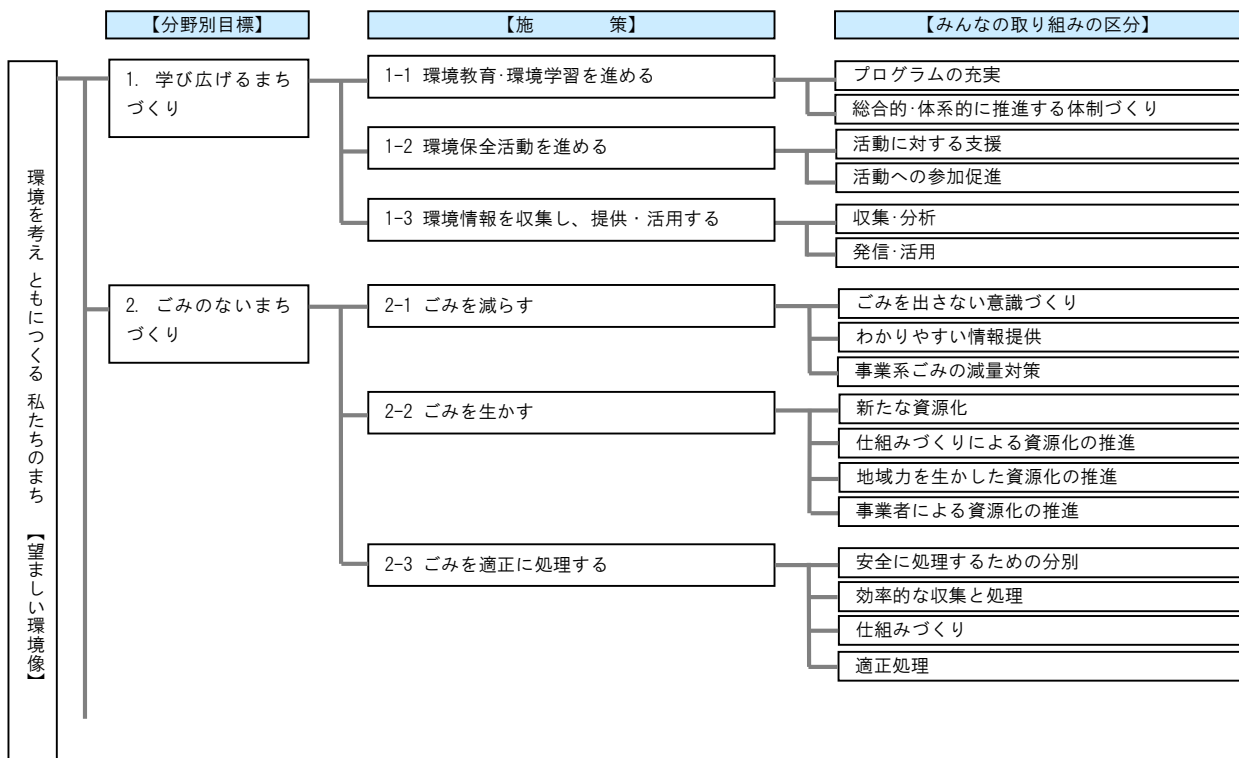
環境を考え ともにつくる 私たちのまち

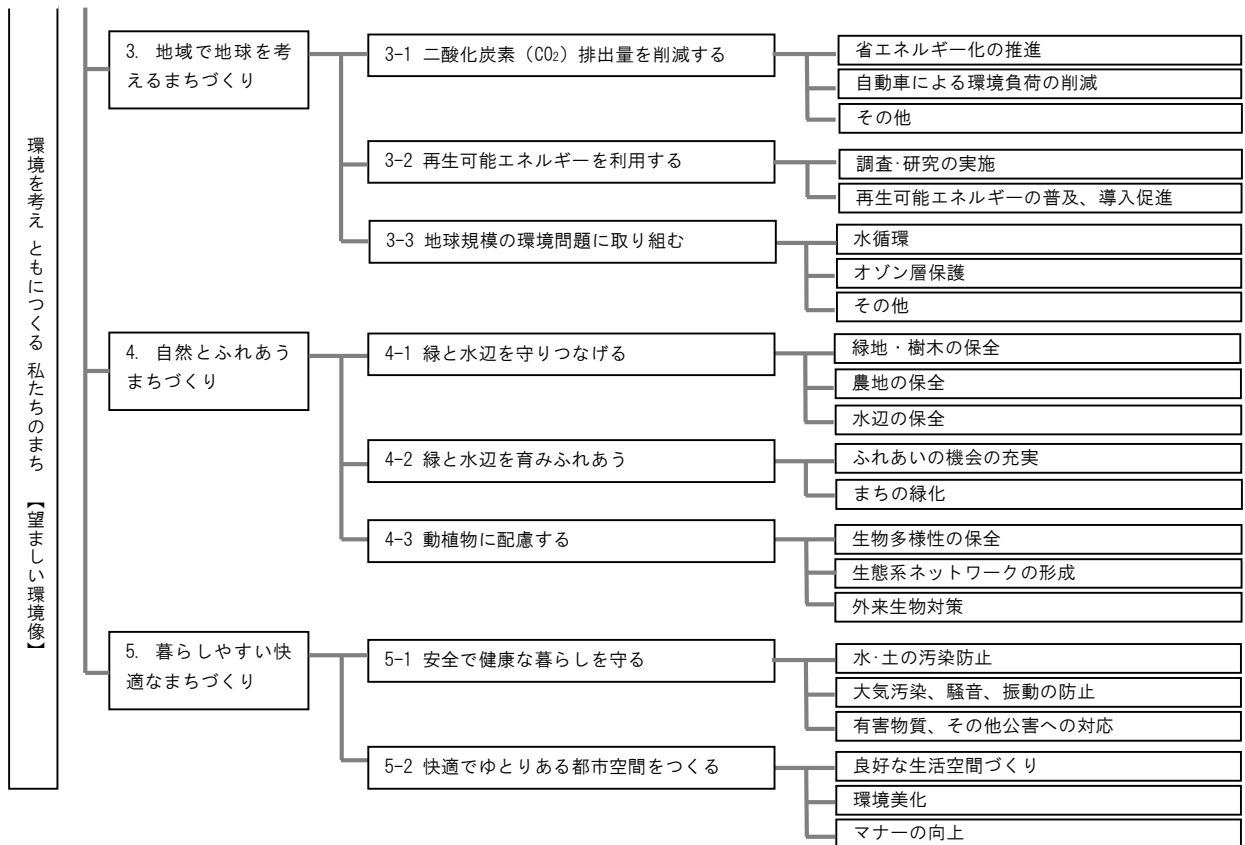
3 施策の体系

本計画では、望ましい環境像の実現に向けて、5つの「分野別目標」と14の「施策」を設定しています。また、それぞれの「施策」を実現するため、「みんな（市、市民・市民団体、事業者）の取り組み」を設定しています。

なお、平成26年度に実施した「環境基本計画の中間見直し」では、特に「ESD*の視点に基づく環境教育の推進」と「省エネルギー化・再生可能エネルギー導入の推進」、そして「生物多様性の保全」の3点に着目して、施策や指標の見直しなどを行っています。

*ESD：持続可能な開発のための教育

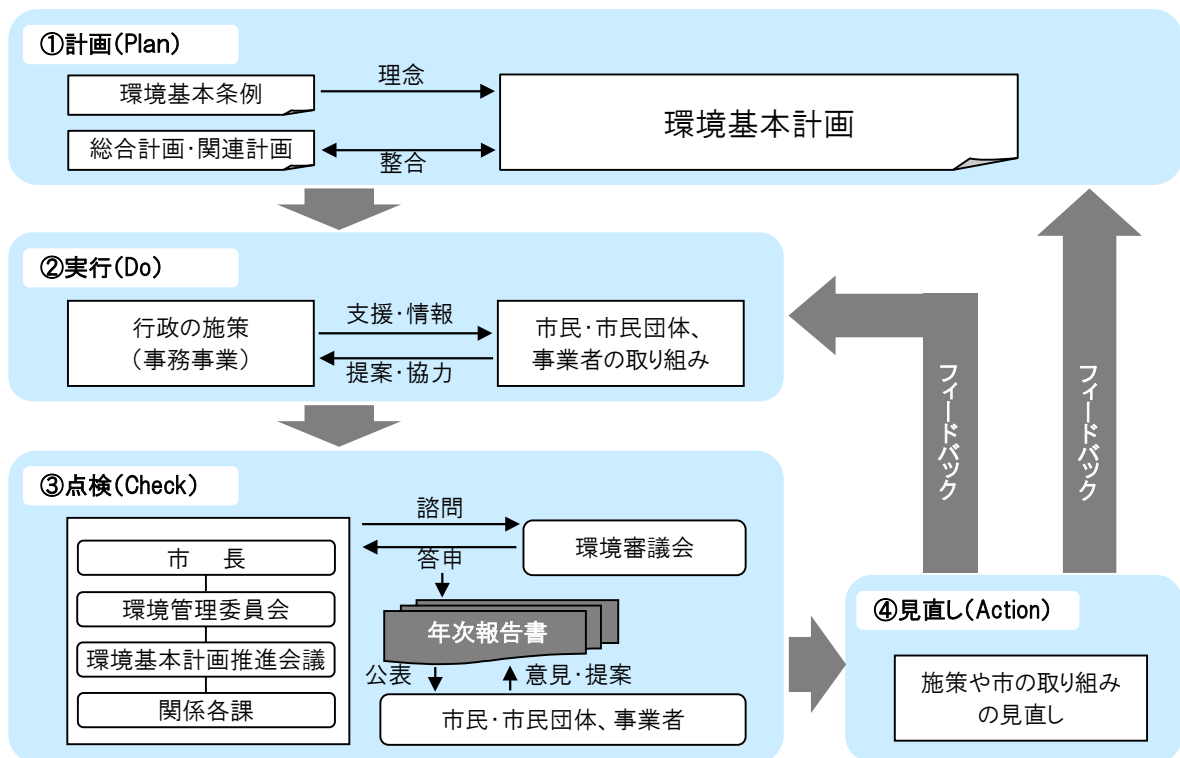




4 計画の進行管理体制・年次報告書

全ての主体が連携・協働のもと計画を着実に推進するため、次の推進体制によって進行管理を行っています。

また、市民や事業者の皆さんからいただいたご意見を、その後の施策や進行管理に生かしていくため、計画に基づく取り組み状況を毎年点検・公表し、「年次報告書」としてまとめています。



II 平成30年度の実績と指標の状況

1 「施策」の目標に向けた「指標」の状況

「みんなの取り組み」の実施によって、施策が目標へ向かっているかを見る「指標（モノサシ）」の状況（平成30年度）は、総合計画に位置づけられている施策・基本事業の成果指標の現状値を前年度実績と比較し、評価を行っています。

対前年度では、全40指標中 ○（向上）が、17件（全体の42.5%）、△（横ばい）が、8件（全体の20%）、×（低下）が、15件（全体の37.5%）となりました。

なお、長期目標値（令和5年度）の目標達成度は全40指標中○（達成）が14件（全体の35%）、－（未達成）が26件（全体の65%）となりました。

対前年度の評価が○の評価の指標については関連する現在の取り組みを推し進め、△の評価の指標については関連する取り組みの改善を行い、×の評価の指標については、関連する取り組み自体を見直すなど、この結果を参考によりよい環境活動へとつなげてまいります。

詳細については、6ページ以降の「IV 施策ごとの取り組み状況」をご覧ください。

分野別目標	指標名	対前年度	目標達成度
①学び広げるまちづくり	環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	△	○
	ESDユネスコスクール数	△	—
	環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	△	—
	環境保全活動等に参加している市民団体数 ※	×	—
	環境保全分野のボランティアをしている市民の割合 ※	○	—
	環境に関する情報の発信機会	○	○
	河川水質調査項目数	△	○
	環境保全の知識を学んでいる市民の割合	△	○
②ごみのないまちづくり	市民一人一日あたりのごみ総量	○	○
	再使用している市民の割合	○	—
	ごみの発生抑制（リデュース）に取り組んでいる市民の割合	○	○
	環境事業センターにおけるリユース件数	○	○
	燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合	○	○
	資源化率	×	—
	ごみ残置シール貼付数	×	○
③地域で地球を考えるまちづくり	ごみ収集に関する不具合・事故件数	×	—
	地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数	○	—
	省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合	△	○
	市の施設における温室効果ガス排出量	○	—
	再生可能エネルギーを活用している公共施設数	△	○
④自然とふれあうまちづくり	環境保全を意識し、行動している市職員の割合	○	—
	公共緑地面積	△	—
	民有緑地面積	×	○
	農業振興地域における農地面積	△	○
	緑・水辺に親しめる場所があると思う市民割合	×	—
	新たに生み出された緑の箇所数	○	—
	自ら緑を育成している市民の割合	○	—
	水辺空間を利用している市民の割合	○	—
	水辺空間の満足度	×	—
	緑地面積	×	—
⑤暮らしやすい快適なまちづくり	BOD（生物化学的酸素要求量）の主要河川での改善数値	×	—
	快適な生活衛生環境だと思う市民の割合	×	—
	下水道普及率	○	—
	生活衛生環境に関する苦情の解決率	○	○
	水質を維持しているため池数	×	—
	生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合	○	—
	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	○	—
	都市景観に満足している市民割合	×	—
	生活衛生環境の向上支援件数	×	—
ペット・小動物に関する苦情件数	×	—	

※は、「④自然とふれあうまちづくり」の指標としても活用しています。

2 「みんなの取り組み」によって進んだことがら

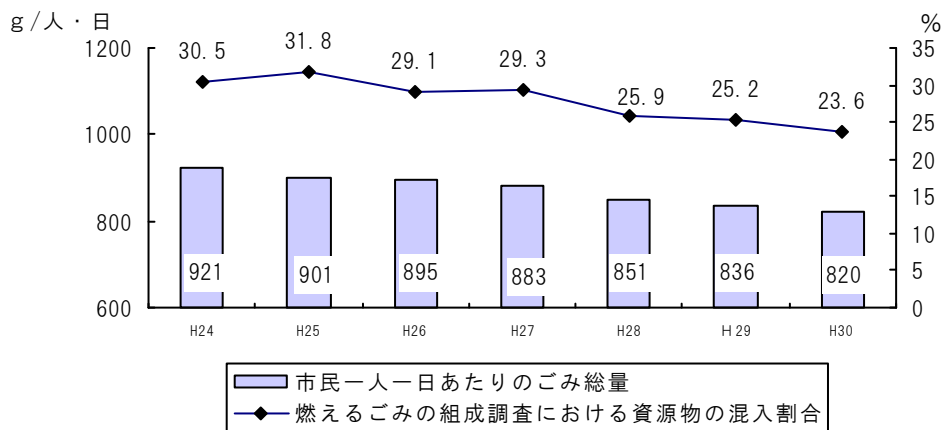
① 学び広げるまちづくり

「親子自然あそびツアー」に参加した市内の親子の皆さんが、森の中での五感と想像力を使った自然あそびや身近な自然のものやリサイクル素材を利用した工作を通じ、自然とのふれあいや自然の大切さを学びました。



② ごみのないまちづくり

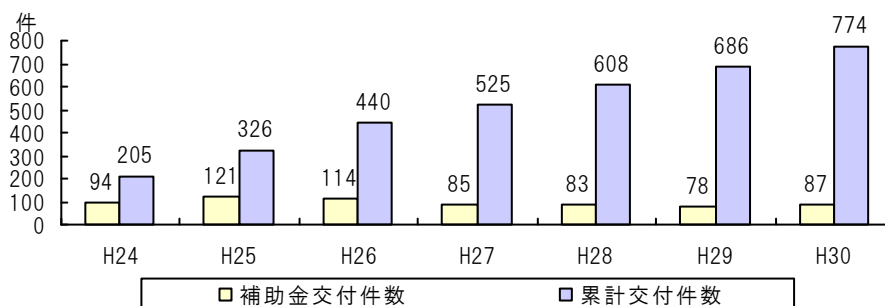
市民一人一日あたりのごみの総量は年々減少しており、本市における平成30年度の事業系ごみを含めた総ごみ排出量は、1人1日あたり820g/人・日です。また、燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合も減少しており、ごみの分別が進みました。これは市民の分別意識の高まりによるものと考えられ、今後より一層の進展を目指します。



③ 地域で地球を考えるまちづくり

地球温暖化防止のため、市の補助金を利用して再生可能エネルギーを導入する家庭が増加し、太陽光発電施設だけでも年間1,256トンの二酸化炭素の削減（スギの木が1年間に吸収するCO₂の量の約89,700本分相当）につながっています。また、平成28年度から家庭用エネルギー管理システム（HEMS）など、太陽光発電施設以外の設備にも補助を行う、地球温暖化対策設備設置費補助金を実施しています。

地球温暖化対策設備設置者への補助金交付件数



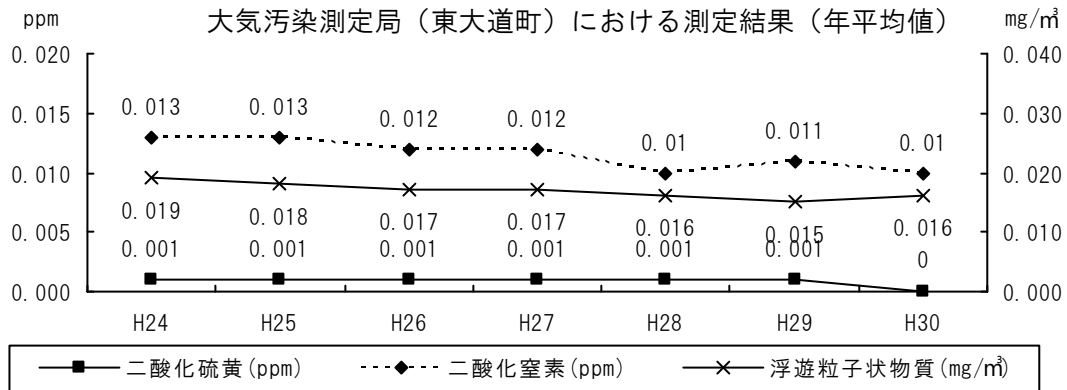
④ 自然とふれあうまちづくり

子どもたちを対象として、自然の中で遊びながら学ぶ体験ができるイベントを市民活動団体の協力を得ながら開催しました。当日は、保護者の参加も多数あったため、多くの市民の皆さんが、自然とふれあうことができました。



⑤ 暮らしやすい快適なまちづくり

市内の大気汚染の状況は、年々減少傾向にあつて引き続き環境基準*を達成しています。



*環境基準 ■ 二酸化硫黄： 1時間値の1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下
 ◆ 二酸化窒素： 1時間値の1日平均値が0.04から0.06ppmまでゾーン内又はそれ以下
 × 浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.1mg/m³以下、かつ1時間値が0.2mg/m³以下

III 施策ごとの取り組み状況

1 施策ごとの取り組み状況の見方

6ページ以降の施策ごとの取り組み状況については、次のような形で記載しています。

① 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

平成29年度と平成30年度の指標の状況を表形式で、近年の移り変わりの状況をグラフで表しています。

なお、2年ごとに実施している「尾張旭市まちづくりアンケート」の結果を指標としている場合や、新規で設定した指標については、アンケート実施年度のものを再掲しています。

[例]

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	12.4%	30.1%	29.2%	17.0%	△

② 主な「みんなの取り組み」の状況

「施策」を実現するための、「みんなの取り組み」の主なものについて、平成30年度の実績と令和元年度の予定を掲載しています。

なお、市民・市民団体による取り組みについては**市民・市民団体**として、事業者による取り組みは**事業者**として掲載し、それぞれ「市民が」、「事業所が」といった形で表示しています。

また、平成30年度以降に新たに実施した取り組みは文末に（新）と表示しています。

[例]

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
市民 行政や市民団体の行う環境教育・環境学習への積極的な参加に努めます。	市民が 市主催の各種環境講座に参加して、関連する知識や理解を深めました。
外来生物の駆除により生態系の保全に取り組みます。	「まち美化大作戦」事業の実施に合わせてオオキンケイギクの除却を行いました。 (新)

③ 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なこと

「市の取り組み」のうち、まだ手がつけられていない取り組みや、今後もっと努力や検討が必要な取り組みをピックアップし、今後へとつなげます。

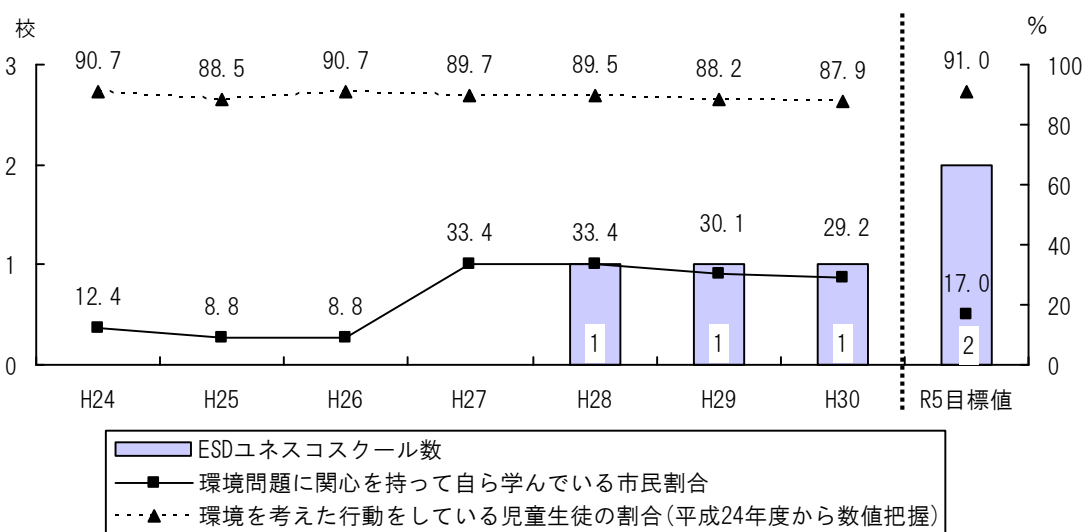
2 施策ごとの取り組み状況

分野別目標 ①	学び広げるまちづくり
---------	------------

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

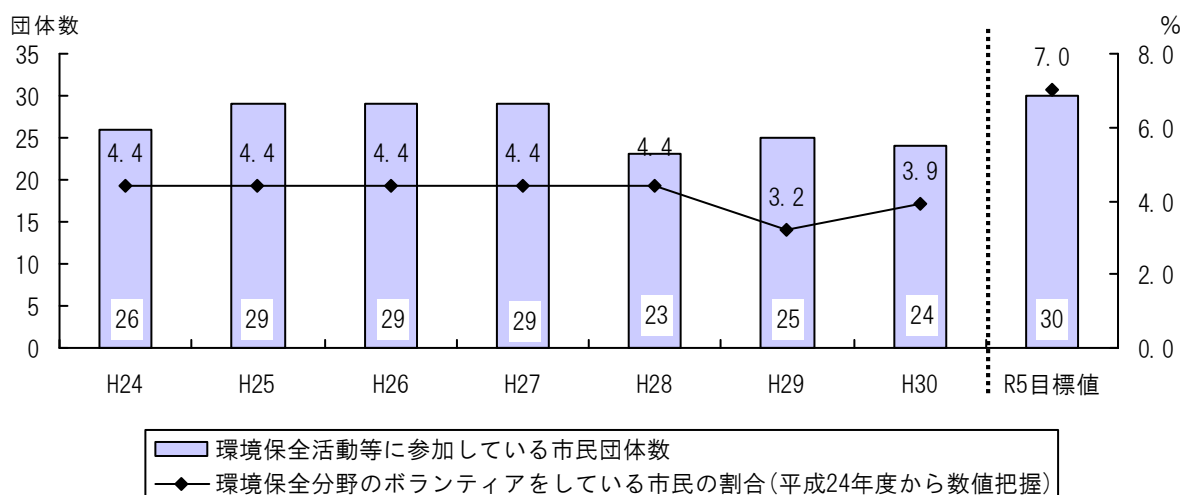
施策1-1 環境教育・環境学習を進める

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
ESDユネスコスクール数	0校	1校	1校	2校	△
環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	12.4%	30.1%	29.2%	17.0%	△
環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	90.7%	88.2%	87.9%	91.0%	△



施策1-2 環境保全活動を進める

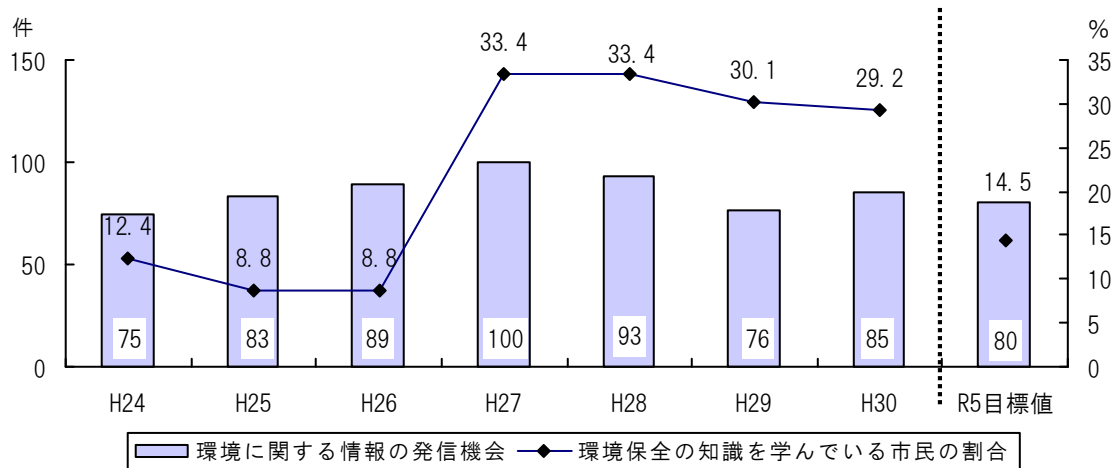
指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
環境保全活動等に参加している市民団体数	26団体	25団体	24団体	30団体	×
環境保全分野のボランティアをしている市民の割合	4.4%	3.2%	3.9%	7.0%	○



施策1-3 環境情報を収集、提供・活用する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
環境に関する情報の発信機会	75件	76件	85件	80件	○
環境保全の知識を学んでいる市民の割合	12.4%	30.1%	29.2%	14.5%	△
河川水質調査項目数*	9件 (H27)	9件	9件	9件 (H27修正)	△

* 尾張東部環境保全連絡協議会における河川水質調査内容の見直しに伴い基準値及び長期目標を修正



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①プログラムの充実

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
あらゆる年齢層に対する環境教育・環境学習の実施方法を模索します。	ごみのリサイクルについて、市内保育園での出前講座を行いました。(新)
市民 行政や市民団体の行う環境教育・環境学習への積極的な参加に努めます。	市民が、市主催の各種環境講座に参加して、関連する知識や理解を深めました。

②総合的・体系的に推進する体制づくり

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
学校内のビオトープを活用した水生生物調査のほか、大気や水の調査など、学校ごとに特色のある取り組みの実施に努めます。	旭小学校と渋川小学校で学校内のビオトープを活用した水生生物調査のほか、大気や水の調査など、学校ごとに特色のある取り組みの実施に努めました。

③活動に対する支援

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
活動状況の情報交換を行うことができる場の提供に努めます。	市民活動団体の交流の場を年に3~4回程度設けています。
市民 事業者や市が開催する環境関連イベントに積極的に参加します。	市民が、市と校区社会福祉推進協議会主催の「まち美化大作戦」に参加し、市内の一斉清掃を行いました。
事業者 地域の環境保全活動や環境関連イベント等に積極的に参加・協力します。	市内事業所の従業者等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。

④活動への参加促進

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
環境保全活動への参加を促進します。	市民活動支援センター登録の市民団体や、その開催行事の周知を行いました。また、市民団体による河川清掃活動の実施にあたり、後援を行いました。
事業者 事業所内や事業において環境に配慮した取り組みを広く紹介します。	市内のスーパーが、小学生を対象に環境教室を開催し、自社の環境への取り組みを紹介しました。

⑤収集・分析

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
社会経済情勢を踏まえながら、環境を取り巻く情報や、自然資源の分布等を客観的・定量的に把握します。	尾張旭市地球温暖化対策実行計画に基づき、全庁的に温室効果ガス削減を推進しました。
市民 家庭版環境ISOに取り組み、家庭でのエネルギー使用量等の把握に努めます。	市民が、家庭版環境ISO事業や、簡易版であるCO ₂ CO ₂ (コツコツ)ダイエットプラン事業に参加しました。

⑥発信・活用

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
環境情報を積極的に発信し、市民の意識高揚につなげます。	本市の環境関連情報を愛知県の情報掲示板（エコリンクあいち）を通じて発信しました。 また、市内で開催される環境イベントを集約した環境学習案内を年4回発行しました。



①プログラムの充実
～市内保育園での出前講座



④活動への参加促進
～市内スーパーでの環境教室

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

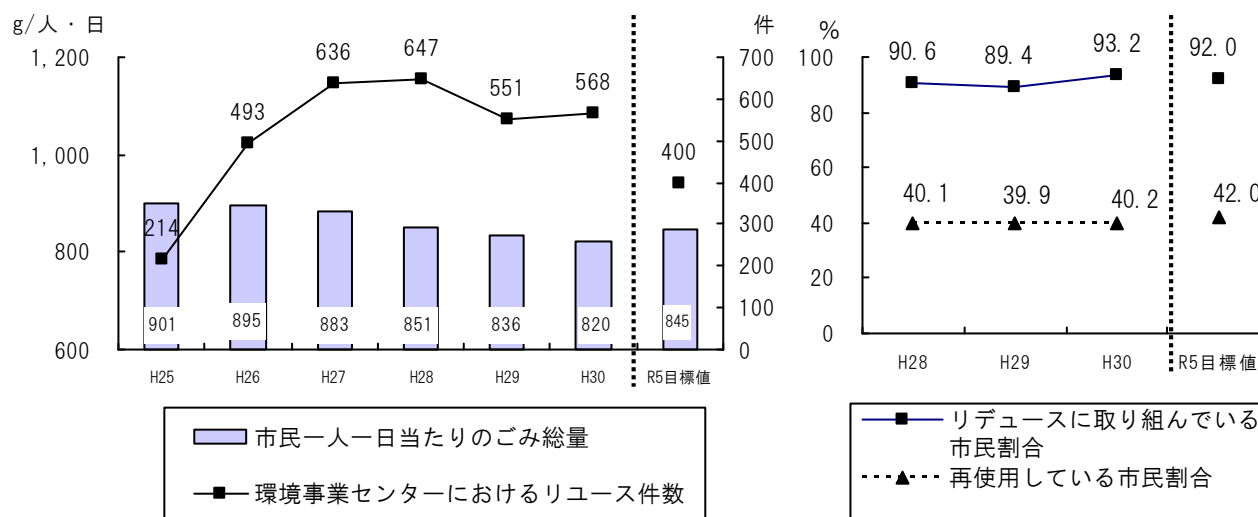
みんなの取り組み区分	内容
①プログラムの充実	新たな環境学習機会の提供
③活動に対する支援	活動状況の情報交換機会の創出
④活動への参加促進	活動へ参加募集方法の検討
⑥発信・活用	環境に関する無関心層への啓発方法の検討

分野別目標 ② ごみのないまちづくり

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

施策2-1 ごみを減らす

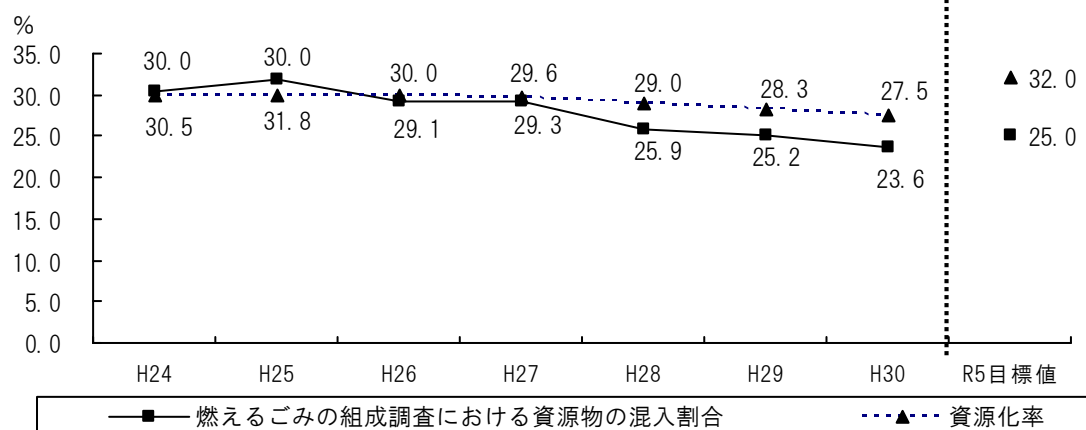
指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
市民一人一日あたりのごみ総量	921 g / 人・日	836 g / 人・日	820 g / 人・日	845 g / 人・日	○
環境事業センターにおけるリユース件数	129件	551件	568件	400件	○
再使用している市民の割合	38.3%	39.9%	40.2%	42.0%	○
ごみの発生抑制（リデュース）に取り組んでいる市民の割合	91.9%	89.4%	93.2%	92.0%	○



施策2-2 ごみを生かす

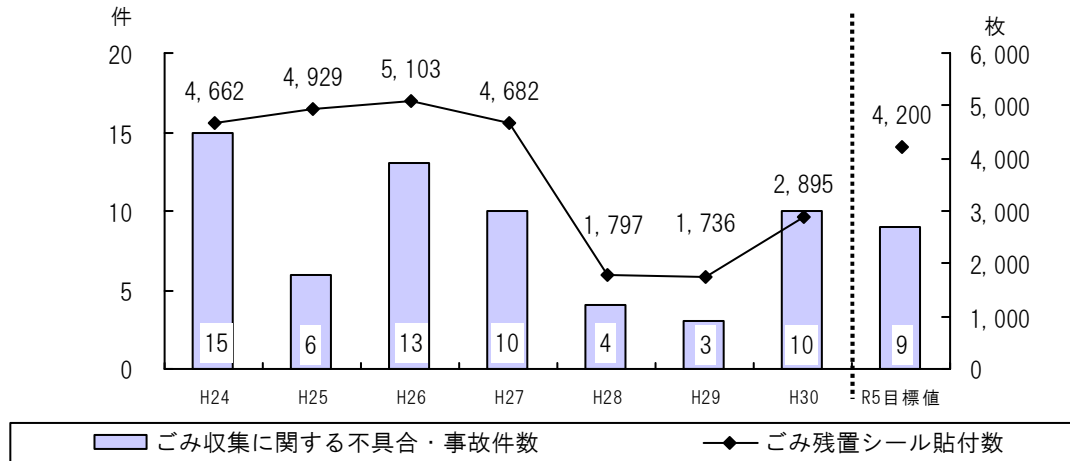
指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合	30.5%	25.2%	23.6%	25.0%	○
資源化率*2	30.0%	28.3%	27.5%	32.0%	×

*2 資源化率=資源ごみ総量÷(可燃ごみ総量+不燃ごみ総量+資源ごみ総量)【全て家庭系ごみ】



施策2-3 ごみを適正に処理する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
ごみ収集に関する不具合・事故件数	15件	3件	10件	9件	×
ごみ残置シール貼付数	4,662枚	1,736枚	2,895枚	4,200枚	×



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①ごみを出さない意識づくり

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
燃えるごみの排出量に応じた費用負担を検討します。	廃棄物減量等推進審議会へ諮問し、提出された答申に基づき、「現時点では有料化を行わない」と判断しました。
子ども用品の譲渡及び譲受けの場を拡大します。	健康フェスタにおいて、リサイクル広場での子ども用品引取・提供事業の啓発及びチラシの配布を行いました。

②わかりやすい情報提供

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
ごみに関する情報をわかりやすく市民に提供します。	スマートフォンなどから簡単にごみの分別や収集日を検索できるようにごみ出しアプリを提供しました。
小・中学生に対してごみに関する学習の機会を提供します。	小学校4年生の社会科で晴丘センターを見学し、ごみがどのように処理されるかを学びました。
市民 ごみ処理施設の見学会に参加します。	市民が、親子リサイクル教室に参加し、リサイクル広場と晴丘センター、関連企業を見学しました。

③事業系ごみ減量対策

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
事業系ごみの実態を把握するため事業者アンケートを実施します。	商工会を通じて事業者アンケートを実施し、結果をとりまとめました。
市民 自転車(リユース品)を利用します。	市民が、リサイクル広場で提供された自転車を利用しました。

④新たな資源化

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
小型家電の分別回収を進めます。	民間企業と協定を結び、宅配便回収を開始しました。 (新)
市民 生ごみ処理機の活用や生ごみの堆肥化に努めます。	市民が、生ごみ処理機等購入費補助制度を活用し、生ごみの堆肥化を進めました。

⑤仕組みづくりによる資源化の推進

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
分別が不十分なごみは取り残し措置を行い、必要に応じて開封調査・指導を行います。	分別ルールが守られていないごみは、警告シールを貼付し取り残しました。また、事業系ごみが出されていた場合、直接指導を行いました。

市民 生ごみ処理機の活用や生ごみの堆肥化に努めます。	市民が、生ごみのたい肥化に関する市民団体開催の講習会や出前講座に参加しました。
-----------------------------------	---

⑥地域力を生かした資源化の推進

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
ごみの減量と資源化を自治会等の各種団体と共に積極的に進めます。	自治会へ生ごみ減量・雑紙分別に関するチラシの配布を依頼しました。
資源ごみ回収団体活動奨励金制度の実効性を高めます。	広報に制度の記事を掲載するとともに、前年度登録団体に制度の案内を行いました。

⑦事業者による資源化の推進

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
買った店に使い終えた容器を戻す仕組みを広げます。	市内民間店舗で回収している資源の種類の結果を市ホームページに掲載し、市民に情報提供しました。
事業者 剪定枝の資源化に努めます。	市内造園業者等が、剪定枝の資源化に協力しました。

⑧安全に処理するための分別

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
消火器、バッテリー、プロパンボンベ等を販売店で適正処理するよう呼び掛けます。	充電式電池の処分方法をホームページに掲載し、適正処理に関する啓発を行いました。(新)

⑨効率的な収集と処理

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
地域と連携し、ごみ集積所の配置や管理のあり方を検討します。	利用者や地域の町内会と連携し、ごみ集積所に関する問題への対応を行いました。

⑩仕組みづくり

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
ごみ119番のような相談窓口を設置します。	ごみの分別、出し方等の問題について、環境課又は環境事業センターで対応しました。また、ごみ出しアプリによくある質問を掲載しました。
あさひ訪問収集を地域と連携した制度へ拡充します。	全戸配布チラシ「ごみの出し方」に記事を掲載するなど、周知を図りました。

⑪適正処理

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
公共事業や市役所等の公共施設から出るごみを適正に処理します。	公共施設から排出される廃棄物を事業系ごみとして収集するようにしました。



②わかりやすい情報提供
～ごみ出しアプリの提供



⑤仕組みづくりによる資源化の推進
～生ごみのたい肥化講習会

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

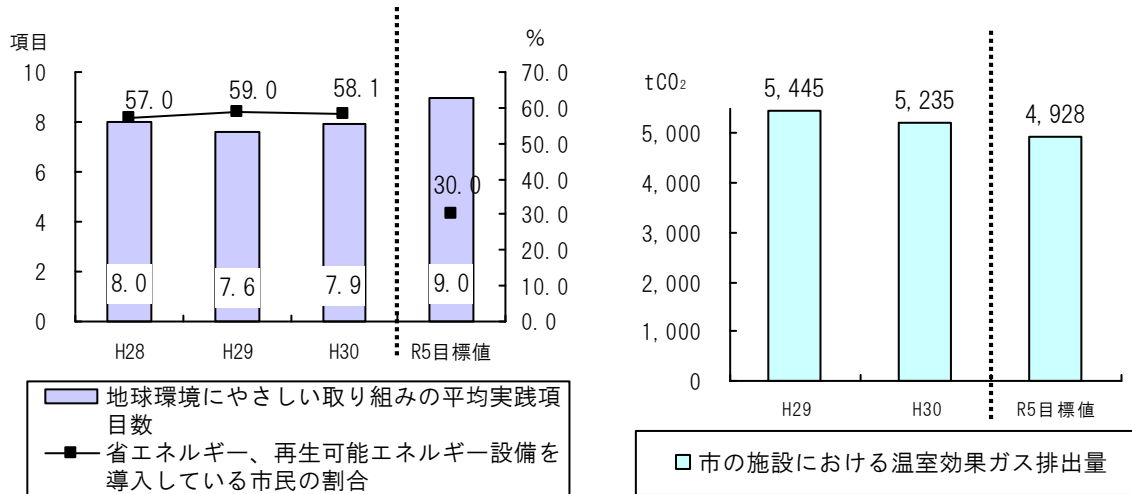
みんなの取り組み区分	内容
③事業系ごみ減量対策	商工会等と連携した事業系ごみの処理に関する啓発
⑥地域力を生かした資源化の推進	自治会等との連携による生ごみ堆肥化のモデル事業
⑦事業者による資源化の推進	買った店に使い終えた容器を戻す仕組みの拡大

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

施策3-1 二酸化炭素(CO₂)排出量を削減する

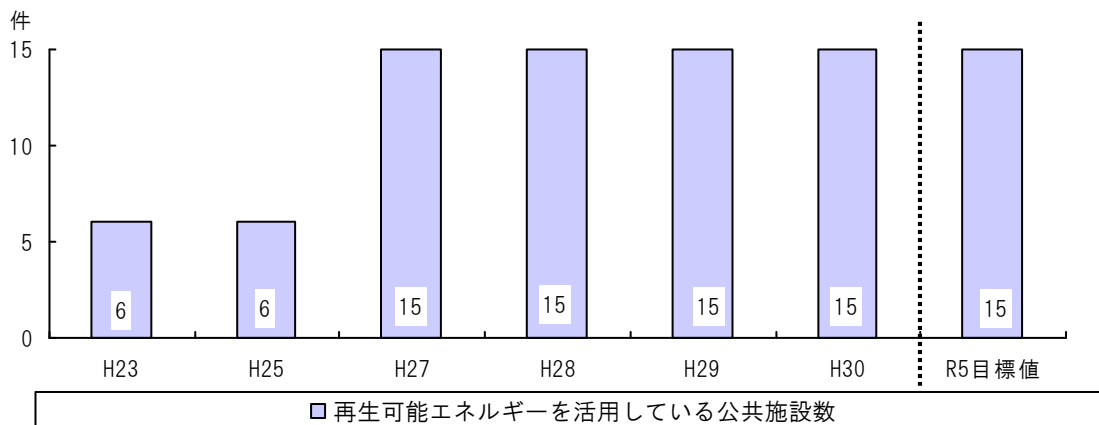
指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合	19.0%	59.0%	58.1%	30.0%	△
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数	7.2項目	7.6項目	7.9項目	9.0項目	○
市の施設における温室効果ガス排出量*3	5,206t-CO ₂ (H27)	5,445t-CO ₂	5,235t-CO ₂	4,928t-CO ₂ (H29修正)	○

*3 平成29年度より、尾張旭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく基準値及び長期目標値へ修正



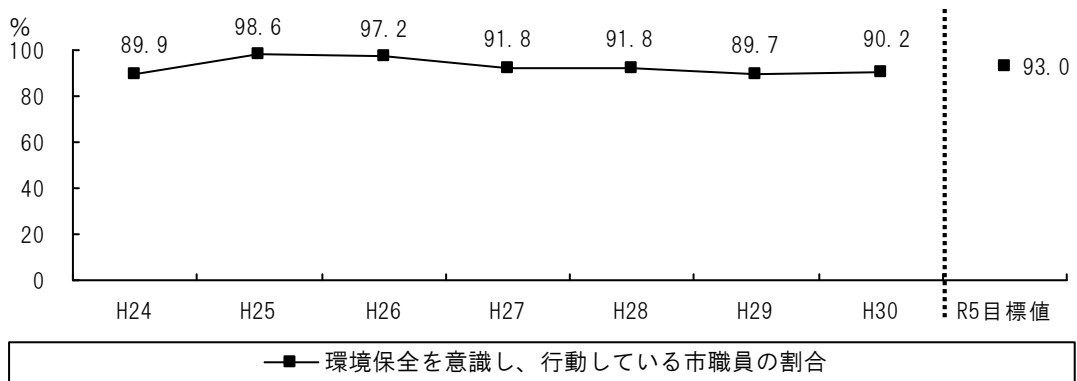
施策3-2 再生可能エネルギーを利用する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
再生可能エネルギーを活用している公共施設数	6件	15件	15件	15件	△
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数 再掲	7.2項目	7.6項目	7.9項目	9.0項目	○
省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合 再掲	19.0%	59.0%	58.1%	30.0%	△



施策3-3 地球規模の環境問題に取り組む

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
環境保全を意識し、行動している市職員の割合	89.9%	89.7%	90.2%	93.0%	○
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数 再掲	7.2項目	7.6項目	7.9項目	9.0項目	○



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①省エネルギー化の推進

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
市内全ての公共施設で緑のカーテン事業を実施します。	公民館、保育園、小学校など公共施設で、緑のカーテン事業を行いました。
住宅用エネルギー管理システム（HEMS）により、太陽光発電の発電量や機器ごとの電力使用量等を「見える化」し、蓄電池や電気自動車への充放電など、電力の効率的な利用を可能とするスマートハウスの普及に努めます。	HEMS、家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン蓄電システム、電気自動車等充電設備に加え、新たに高性能外皮等及び断熱窓改修に対する補助を実施しました。

②自動車による環境負荷の削減

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
公共交通網の充実に努めます。	市営バス「あさび一号」について平成28年4月1日の運行内容見直し以降に寄せられた要望を整理しました。令和元年10月1日に運行ダイヤの改正及び2か所の新規停留所を設置。（新）
幹線道路交通の円滑化に努めます。	都市計画道路霞ヶ丘線の用地買収及び工事を完了し、平成31年3月24日に供用開始しました。（新）

③その他

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
環境マネジメントシステムに基づき、全庁的な環境配慮を推進します。	尾張旭市地球温暖化対策実行計画に基づき、全庁的に温室効果ガス削減を推進しました。
市民 緑のカーテンに取り組みます。	市民が、自宅で育成した緑のカーテンを撮影し、市主催の「緑のカーテンの写真募集」事業に応募しました。

④再生可能エネルギーの普及、導入促進

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
公共施設の屋根を貸し出し、太陽光発電設備を設置する事業の導入を進めます。	10か所の公共施設の屋根を民間事業者へ貸し出し、太陽光発電を行う事業を実施しました。

⑤水循環

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
雨水利用や節水など、水の有効利用を普及啓発します。	水道週間等に水源地見学を開催し、水の有効利用に関する啓発を行いました。

⑥オゾン層保護

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
オゾン層の保護など、地球規模の環境問題に対する意識啓発を推進します。	市内公共施設における、フロン発生施設の保有量および漏えい量を把握するため調査をしました。

⑦その他 【施策3-3】

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
市民 地球環境問題に関する情報を収集し、正しい知識を身につけます。	市民が、市主催の各種環境講座に参加して、関連する知識や理解を深めました。



①省エネルギー化の推進
～公共施設で実施した緑のカーテン



②自動車による環境負荷の削減
～市営バス「あさび一号」

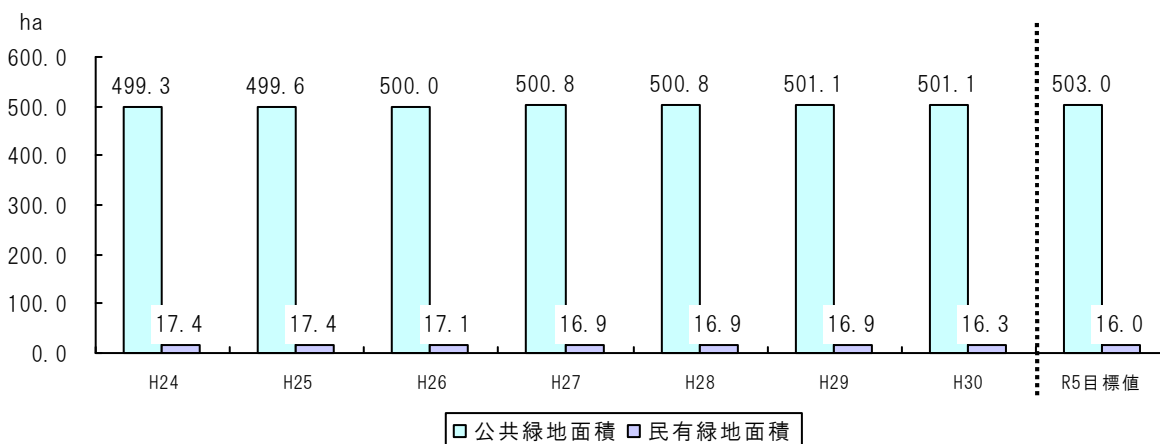
3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

みんなの取り組み区分	内容
③その他	温室効果ガスの排出削減のための計画的な施策の実施
④再生可能エネルギーの普及、導入促進	太陽光発電など、自然エネルギーの利用促進
⑥オゾン層保護	フロン回収に係る啓発の実施

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

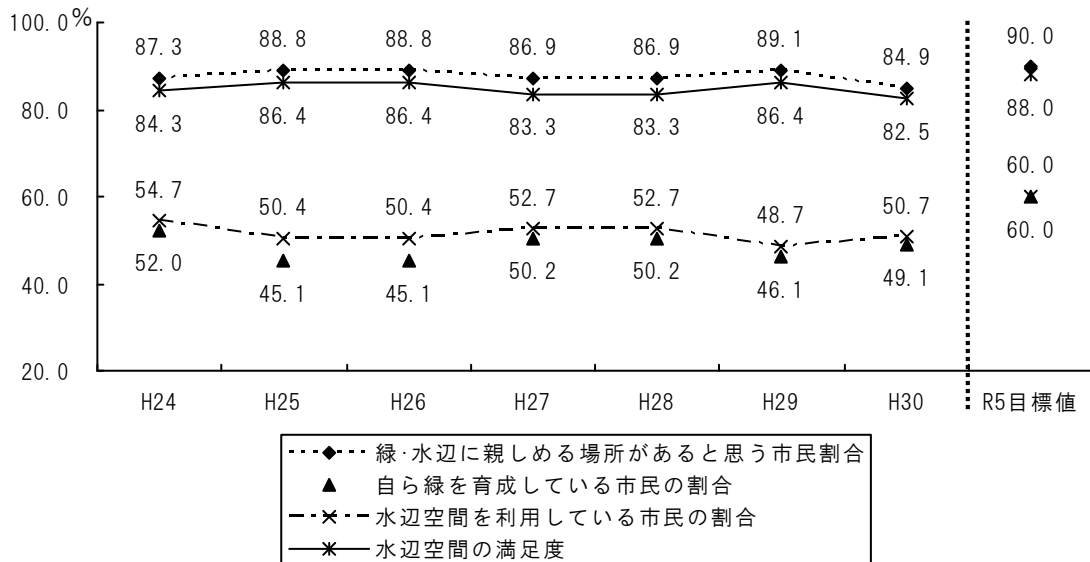
施策4-1 緑と水辺を守りつなげる

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
公共緑地面積	499.3ha	501.1ha	501.1ha	503.0ha	△
民有緑地面積	17.4ha	16.9ha	16.3ha	16.0ha	×
農業振興地域における農地面積	110ha	107ha	107ha	104ha	△



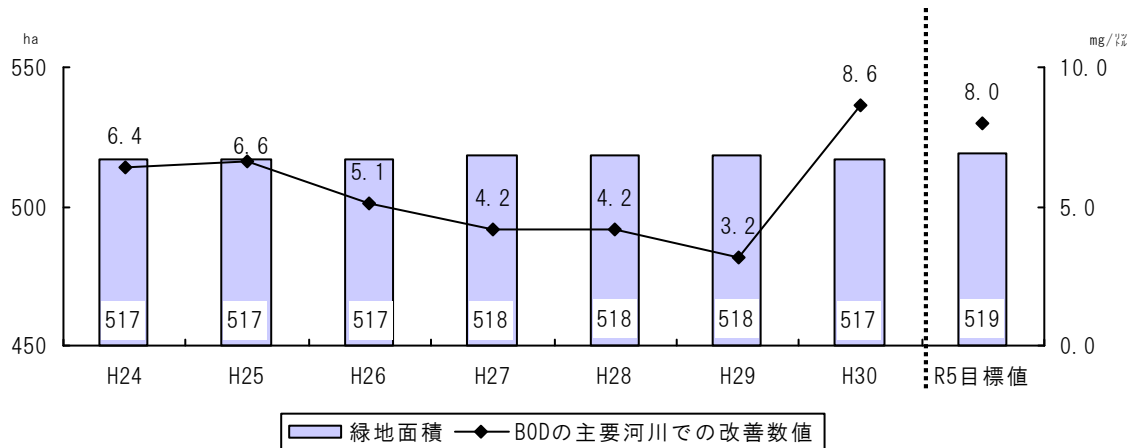
施策4-2 緑と水辺を育みふれあう

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
緑・水辺に親しめる場所があると思う市民割合	87.3%	89.1%	84.9%	90.0%	×
自ら緑を育成している市民の割合	52.0%	46.1%	49.1%	60.0%	○
水辺空間を利用している市民の割合	54.7%	48.7%	50.7%	60.0%	○
水辺空間の満足度	84.3%	86.4%	82.5%	88.0%	×
新たに生み出された緑の箇所数	10箇所	5箇所	6箇所	10箇所	○



施策4-3 動植物に配慮する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
緑地面積	517ha	518ha	517ha	519ha	×
BODの主要河川での改善数値	6.4mg/ℓ	3.2mg/ℓ	8.6mg/ℓ	8.0mg/ℓ 以下	×
環境保全活動等に参加している市民団体数 再掲	26団体	25団体	24団体	30団体	×
環境保全分野のボランティアをしている市民の割合 再掲	4.4%	3.2%	3.9%	7.0%	○



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①緑地・樹木の保全

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
計画的な土地利用を推進し、緑地等の確保に努めます。	維摩池西に自生している市内で唯一のエドヒガンザクラを保全するため、整備を行いました。
緑地や保存樹等の保全に努めます。	市指定文化財「長池のマメナシ・アイナシ自生地」について、平成29から30年度まで専門家に環境・分布調査、研究等を委託し、保全に努めました。マメナシ・アイナシ観察会を実施しました。
市民 市民参加による自然環境調査や観察会、保護活動に積極的に参加協力します。	市民団体による自然観察会が行われ、緑地保全への理解を深めました。

②農地の保全

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
景観形成作物の栽培、市民農園としての利用など、遊休農地の活用に努めます。	城前町の休耕田を利用し、景観形成作物のコスモスを栽培しました。
市民 農業体験を通して農業への理解を深めます。	市民が、「親子で学ぶ農業塾」や「尾張旭市農学校」、「田んぼアート」、「田んぼイルミネーション」等の事業に参加し、農業への理解を深めました。
事業者 農村と都市間の交流体験の場を提供し、地域の農業をPRします。	市内事業者が、楽農まつりや農業まつりを実施し、阿智村をはじめ、市内外の事業者が農産物や地場特産品の販売を行いました。

③水辺の保全

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
生態系に配慮しつつ、親水公園化や遊歩道の設置に努めます。	矢田川河川敷の散歩道の整備を行いました。
事業者 市民団体の活動や地域の保護活動に積極的に参加します。	市内事業所の社員等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。

④ふれあいの機会の充実

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
自然とのふれあいや自然の大切さを学習する機会を提供します。	森林や緑に対する国民の理解を深める目的で、令和元年6月2日に第70回全国植樹祭を開催。(新)
自然とのふれあいや自然の大切さを学習する機会を提供します。	平子町北地内の市有地で、自然体験教室を開催し、子どもたちが自ら竹や木材を集め、のこぎりやドリル等を使って、木馬や笛等をつくりました。(新)
市民団体 自然と積極的にふれあい、自然の大切さを学びます。	市民団体が、山辺の散歩道の自然観察会を開催しました。

⑤まちの緑化

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
家庭や事業所の緑化を促進します。	全小学校児童と公共施設にちびっ子ひまわりの種を配布しました。
市民 ガーデニングや生垣設置など、家の周囲に緑を増やします。	全国植樹祭あさひサポーター登録者の中で約9割(745名の方)が、緑の増加を活動内容に選び、宣言しました。(新)

⑥生物多様性の保全

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
貴重な湿地植物が生育する吉賀池湿地の保全に取り組みます。	吉賀池湿地の保全のため、立入りを制限し、一般公開日にのみ限定して公開しました。また、湿地の魅力を紹介する動画を作成しました。(新)
市内の自然環境の分布や動植物の生息・生育状況に関する実態調査を行い、その保全方法について調査研究を行います。	市指定文化財「長池のマメナシ・アイナシ自生地」について、平成29年から30年度まで専門家に環境・分布調査、研究等を委託し、保全に努めました。マメナシ・アイナシ観察会を実施しました。
市民 野生動植物の生息・生育場所の保全に協力します。	市民からの募金やふるさと納税の寄附金によって吉賀池湿地の木道修繕、整備を行いました。

⑦外来種対策

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
外来生物の駆除により生態系の保全に取り組みます。	「まち美化大作戦」事業の実施に合わせてオオキンケイギクの除却を行いました。(新)



②農地の保全
～田んぼイルミネーション

⑥生物多様性の保全
～マメナシ・アイナシ観察会

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

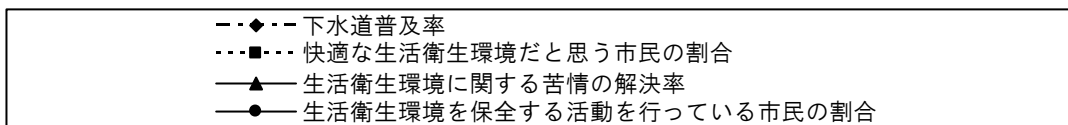
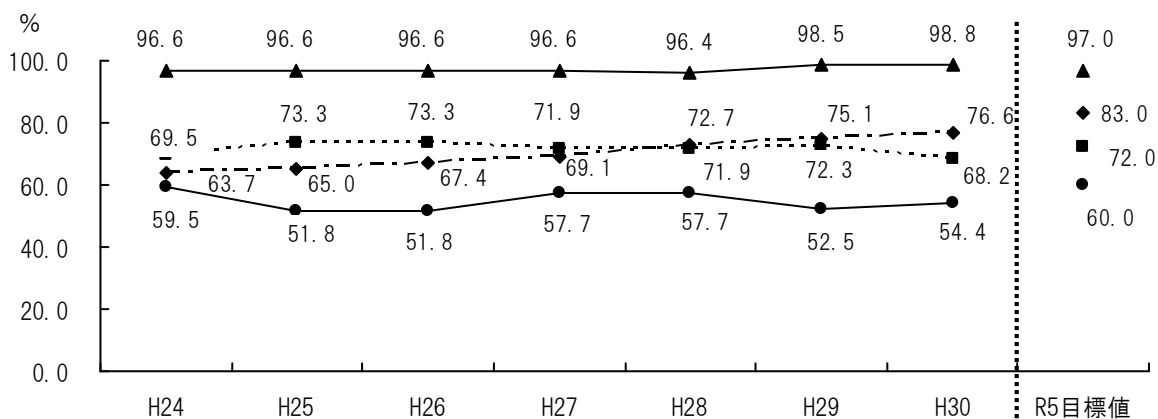
みんなの取り組み区分	内容
④ふれあいの機会の充実	自然とのふれあいや自然の大切さを学習する機会の提供
⑤まちの緑化	事業所敷地内の緑化の促進
⑦外来種対策	外来生物対策に係る情報を発信

分野別目標 ⑤ 暮らしやすい快適なまちづくり

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

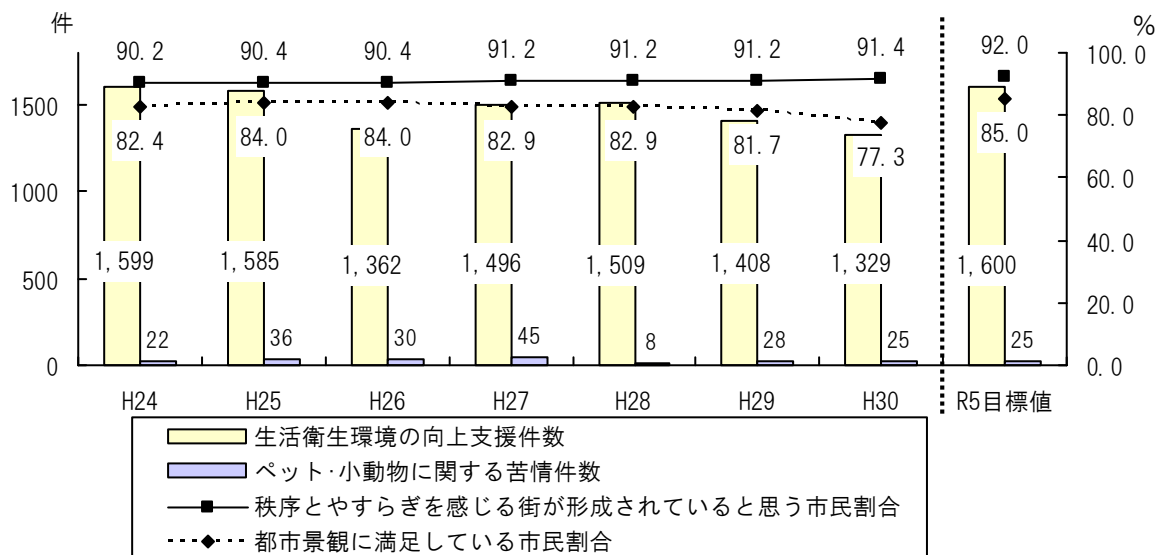
施策5-1 安全で健康な暮らしを守る

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
下水道普及率	63.7%	75.1%	76.6%	83.0%	○
快適な生活衛生環境だと思う市民の割合	69.5%	72.3%	68.2%	72.0%	×
生活衛生環境に関する苦情の解決率	96.6%	98.5%	98.8%	97.0%	○
生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合	59.5%	52.5%	54.4%	60.0%	○
BODの主要河川での改善数値 再掲	6.4mg/ℓ	3.2mg/ℓ	8.6mg/ℓ	8.0mg/ℓ以下	×
水質を維持しているため池数	4箇所	5箇所	4箇所	7箇所	×



施策5-2 快適でゆとりある都市空間をつくる

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	長期目標値 (R5)	対前年度
生活衛生環境の向上支援件数	1,599件	1,408件	1,329件	1,600件	×
ペット・小動物に関する苦情件数	22件	28件	31件	25件	×
秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	90.2%	91.0%	91.4%	92.0%	○
都市景観に満足している市民割合	82.4%	81.7%	77.3%	85.0%	×
生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合 再掲	59.5%	52.5%	54.4%	60.0%	○



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①水・土の汚染対策

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
公共下水道整備を推進します。	平子町、南本地ヶ原町、南栄町、長坂町、南原山町、北原山土地区画整理事業地内の污水管渠等の整備を進めました。
公共下水道への接続や合併処理浄化槽の普及促進及び適正管理の啓発に努めます。	9月10日の下水道の日の前に、浄化センターにて下水道講座や施設見学等の普及促進啓発イベントを開催しました。
市民 生活排水浄化に関心を持ち、生活排水クリーン推進員の活動に参加します。	地域婦人団体連絡協議会の会員が、生活排水クリーン推進員の活動に参加しました。
事業者 工場排水に関する情報提供を行うなど、地域からの要望に対応します。	市内の2工場が、市が実施する工場排水調査（全リン、全窒素など7～8項目）に協力しました。

②大気汚染、騒音・振動の防止

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
公共交通網の充実に努めます。	市営バス「あさび一号」について平成28年4月1日の運行内容見直し以降に寄せられた要望を整理しました。令和元年10月1日に運行ダイヤの改正及び2か所の新規停留所を設置。（新）
駅・駅周辺施設を充実させ、公共交通の利用を促進します。	公共交通機関の利用を促進するため、各駅周辺の自転車等駐車場の維持管理を行っています。

③有害物質、その他公害への対応

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
有害化学物質等の情報の提供に努めます。	建物解体時のアスベスト対策について啓発しました。
市民 浄化槽の適正管理に努めます。	市民が、浄化槽の法定検査を毎年1回行い、適切な維持管理状況を確認しました。

④良好な生活環境づくり

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
歩行空間の整備や維持管理のほか、自転車走行空間の整備を推進します。	矢田川河川敷の自転車道整備についてワークショップを行いました。（新）
未整備地区での基盤整備や老朽化した施設の管理のあり方などの検討を進めます。	「尾張旭市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、市営旭ヶ丘住宅で外壁改修工事を実施しました。また、計画年度の満了に伴い、尾張旭市市営住宅長寿命化計画の改定に着手しました。
市民団体 地域の祭りや伝統行事などに積極的に参加します。	各無形民俗文化財保存会が、地域の祭り等に参加し、伝統芸能を披露しました。
市民 あさひ景観フォトサロンに参加し、都市景観に関心を持ちます。	市民が、市内の守り育てたい景観や、愛着のある景観などを撮影し、あさひ景観フォトサロンへ投稿しました。

⑤環境美化

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
空き地や空き家の雑草管理の徹底を図ります。	尾張旭市火災予防条例に基づき現地調査を行い、所有者に刈り取り依頼文及び刈り取り指導文の発送を行いました。
市民 公園や街路樹などの維持管理に協力します。	市民が、公園愛護会に参加し、公園の清掃や除草活動を行いました。
事業者 清掃活動などの地域活動に協力します。	市内事業所の社員等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。

⑥マナーの向上

みんなの取り組み内容	平成30年度の取り組み・令和元年度の予定
放置自転車、放置自動車、違法駐車防止に努めます。	各季に実施する交通安全市民運動の際に放置自転車等の防止について啓発を実施しました。また、各自転車等駐車場において、放置されていると思われる自転車等へ警告札を取り付け、放置防止に努めました。
動物飼育マナーや犬、猫などのふん害防止のための啓発に努めます。	「愛犬出前しつけ方教室」を開催し、ふん害防止グッズを配布しました。
市民 「地域ねこ活動」に協力し、飼い主のいない猫を減らします。	市民が、「地域ねこ活動」に賛同して同活動に登録し、避妊去勢手術やトイレの清掃等を実施して、野良猫の適切な管理へとつなげました。



⑤環境美化
～矢田川一斉クリーン大作戦



⑥マナーの向上
～愛犬出前しつけ方教室

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

みんなの取り組み区分	内容
④良好な生活環境づくり	地域の歴史や文化を生かした都市空間の形成
⑤環境美化	環境美化意識の浸透
⑥マナーの向上	不法投棄、ポイ捨ての防止対策

みなさまのご意見・ご感想をお寄せください！アイデア募集！

尾張旭市では、市民・市民団体、事業者のみなさまからの声を環境行政に反映させていただくため、この環境基本計画年次報告書の内容について、意見・感想を募集しています。

それぞれの取り組みが、より良い方向に進めるようなアイデア、感想、チョット言いたいんだけど・・・といったこと、また、年次報告書の内容全般について等、何でもかまいません。

1 意見等の締切日

令和2年2月5日（水）

2 意見等の提出先及び提出方法

(1) 提出先

尾張旭市役所 環境課

(2) 提出方法

ア 郵送の場合

〒488-8666 尾張旭市東大道町原田2600番地1
(住所は書かなくても届きます。)

イ F A X の場合

0561-52-0831

ウ 電子メールの場合

kankyoushi@city.owariasahi.lg.jp

※ 様式は自由です。なお、最終頁に参考様式を掲載していますので、ご利用ください。また、意見等を提出の際には必ず住所・氏名・年齢をご記入ください。なお、電話での意見は受け付けませんのでご了承ください。

※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています。(意見部分のみ)

※ ご記入いただいた個人情報については、意見等のとりまとめ以外の目的には使用しません。

3 問い合わせ先

尾張旭市役所 環境課環境政策係 TEL：0561-76-8134（直通）

(参考様式)

「令和元年度 環境基本計画年次報告書」に関する意見等記入シート

氏名		年齢	
住所			

キ
リ
ト
リ

※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています。(意見部分のみ)

※ ご記入いただいた個人情報については、意見等のとりまとめ以外の目的には使用しません。

提出先…尾張旭市役所 環境課

▽郵送の場合：〒488-8666

尾張旭市東大道町原田2600番地1 (住所は書かなくても届きます。)

▽FAXの場合：(0561) 52-0831

▽電子メールの場合：kankyou@city.owariasahi.lg.jp